

# 「芸術祭作品レベル高い」

農村課題学  
豪政府視察団

## 十日町を初訪問



日本の農村など地方の課題や取り組みを学ぶため、オーストラリア政府の視察団が30日、初めての十日町を訪れ、柵田や大地の芸術祭作品を見学した。同国大使館の協力で昨年完成した芸術祭作品「オーストラリアハウ

ス」のある同市浦田では住民と交流し、山里の暮らしを直接聞いた。視察団は連邦政府と州政府の農業、福祉担当など局長レベル以上の17人。日本とマレーシアで計20日間、地域文化や政治、経済を学ぶ。27日に

オーストラリア政府の視察団が十日町市を初訪問。住民から直接話を聞いた。30日、同市

視察団代表で同国国立大教授（国際経済学）のピーター・ドライスデーさん（左）は「地方にこれだけレベルの高い芸術作品があるのは驚き。オーストラリアでも取り組みが始まっていて共通性がある。浦田との交流が進むといいと思う」と話した。

十日町入りした一行は、松代地区峠の柵田や、芸術祭作品「脱皮する家」などを見て回り、古民家

を訪れ、関口芳史市長と懇談。金沢市へ向かった。